

質問に対する回答31
東京外環自動車道 八潮パーキングエリア工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	数量計算書 東埼玉道路八潮地区橋梁設計検討業務(下部工計算書)	PA-4(左)の数量計算書について、数量集計表と鋼管ソイルセメント杭数量計算の記載し かございません。コンクリート、型わく、鉄筋質量、足場工の数量計算書をご教示願いま す。	設計図書に示すとおり、PA-4(左)におけるコンクリートA1-3(J)の数量は 231.6m ³ 、D1-1(J)の数量は5.8m ³ 、型わくC(J)の数量は118.1m ² 、型わくD(J) の数量は3.3m ² 、鉄筋A(J)の数量は15.185t、鉄筋B(J)の数量は8.014t、鉄 筋C(J)の数量は9.248tです。足場工については、数量計算書に示すとおり、 168.0空m ³ です。
2	図面(真空圧密工法)、特記仕様書、 数量計算書(真空圧密工法 表層排 水工)	表層排水工で使用する材料(砂)の規格について、図面、特記仕様書等の交付図書に記 載がございません。材料(砂)の規格をご教示願います。	共通仕様書3-4.表層排水工の通りです。
3	数量計算書 連絡等施設詳細設計 調整池工(P1-7-12)、図面 数量総 括表(その1)	調整池工数量計算書P1-7-12のブロック積数量集計表におけるコンクリート基礎工の記載 がC(F)、D(F)と記載されております。一方、図面の数量総括表(その1)には、B1(F)・B2 (F)と記載されております。図面の数量総括表が正しいと考えてよろしいでしょうか。	その通りお考えください。
4	数量計算書 連絡等施設詳細設計 用・排水構造物工(P1-4-4)、図面 連絡等施設設計図 (6/93)	用・排水構造物工数量計算書P1-4-4において、集水ますDc-G・0.7・0.7・1.2がタイプB、 Dc-Sp・1.0・1.0・1.0がタイプCと集計表に記載されておりますが、連絡等施設設計図(6/ 93)連絡等施設 数量表では、両方ともタイプEと記載されております。どちらの記載が正し いかご教示願います。	数量計算書は参考資料であり、連絡等施設設計図(6/93)連絡等施設 数量 表の通りです。
5	図面 数量総括表(その2)	図面の数量総括表(その2)に集水ます(タイプO)が軟弱地盤対策工に1箇所と記載されて おりますが、軟弱地盤対策工の図面には集水ます(タイプE)のみ記載されております。集 水榭(タイプO)の図面および数量計算書のご提示をお願いします。	集水ますTypeOの図面については、調整池工設計図(3/11)3号調整池 一 般図および(8/11)放流施設 構造図をご確認ください。また、数量計算書に ついては連絡等施設詳細設計_調整池工数量計算書1-7-9をご確認ください。
6	図面 東埼玉道路(第2期迂回路)設 計図 (19/39)	東埼玉道路(第2期迂回路)舗装工平面図の数量表において、切削オーバーレイ工A、再 生密粒度As(t=5~10cm)と記載されております。切削深については平均の7.5cm、オー バーレイの厚さについては基層5cm、表層5cmと考えてよろしいでしょうか。	切削深およびオーバーレイの厚さについては、平均7.5cm、表層については 5cm、基層については2.5cmを想定しています。
7	図面 調整池工設計図(11/11)	調整池工 通水管・放流管構造図において、通水管の材料表に本体の数量が5.41本と記 載されておりますが、ヒューム管(B型1種)φ1000の1本当たりの長さは2.43mとなり10m 当たり4.12本となります。正しい数量をご教示願います。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
8	積算全般	本工事の採用歩掛年度は令和5年度と考えてよろしいでしょうか。異なる場合は正しい適 用年度をご教示願います。	公告日時点の積算基準(R5.7月版)でお考えください。
9	図面「軟弱地盤対策工 ②工区 動 態観測器配置平面図(半自動)」	図面「軟弱地盤対策工 ②工区 動態観測器配置平面図(半自動)」には平面図のみが掲 載されており断面図が掲載されていません。他工区と同様に断面図のご提示をお願いし ます。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。